

1 農業信用保険勘定
(1) 農業保険業務

貸借対照表
(平成28年3月31日現在)

科 目		金 額	科 目		金 額
(資産の部)			(負債の部)		
I 流動資産			I 流動負債		
現金及び預金	12,808	リース債務(短期)	0		
有価証券	11,365	引当金			
未収金	786	賞与引当金	28		
その他の流動資産	103	政府事業交付金	8,499		
流動資産合計	25,063	支払備金	3,040		
		その他の流動負債	38		
II 固定資産			流動負債合計		11,604
1 有形固定資産			II 固定負債		
建物	226	リース債務(長期)	0		
減価償却累計額	△137	引当金			
減損損失累計額	△29	退職給付引当金	267		
土地	663	責任準備金	2,910		
その他の有形固定資産	70	固定負債合計	3,178		
減価償却累計額	△23	負債合計	14,782		
有形固定資産合計	772	(純資産の部)			
2 無形固定資産		75	I 資本金		
3 投資その他の資産			政府出資金	5,442	
投資有価証券	34,597	民間出資金	20,239		
その他の投資その他の資産	2	資本金合計	25,681		
投資その他の資産合計	34,599	II 資本剰余金			
固定資産合計	35,445	政府交付金	3,288		
		特別出えん金	19		
		資本剰余金合計	3,307		
		III 利益剰余金			
		前中期目標期間繰越積立金	9,774		
		積立金	3,685		
		当期末処分利益	3,280		
		(うち当期総利益)	(3,280)		
		利益剰余金合計	16,738		
		純資産合計	45,726		
資産合計	60,508	負債純資産合計	60,508		

* 有形固定資産、無形固定資産は便宜上農業保険業務に一括計上

損益計算書
(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)

科 目		金 額	科 目		金 額
経常費用			経常収益		
事業費			事業収入		
保険事業費		保険事業収入	3,239		
保険金	3,749	保険料収入	2,591		
求償権管理回収助成	28	回収金収入	324		
支払備金繰入	2,045	政府事業交付金収入	2,589		
事業費合計	5,822	責任準備金戻入	8,743		
一般管理費		事業収入合計			
人件費	382	財務収益			
直接業務費	86	受取利息	2		
管理業務費	57	有価証券利息	493		
賞与引当金繰入	28	財務収益合計	495		
退職給付引当金繰入	39	雑益	4		
減価償却費	52				
一般管理費合計	645				
財務費用	0	経常収益合計	9,241		
経常費用合計	6,466				
経常利益	2,775	臨時利益			
臨時損失		厚生年金基金代行返上益	468		
固定資産除却損	0	退職給付引当金戻入	163		
減損損失	26	臨時利益合計	631		
退職給付会計基準改正に伴う調整額	99				
臨時損失合計	126				
当期純利益	3,280				
当期総利益	3,280				

1. 貸借対照表

(注) 貸借対照表及び損益計算書の説明における金額の次の()内は、26年度からの増減を示す(以下同じ)。

- 平成27年度末における資産総額は605億8百万円(18億54百万円増)である。
主な内訳は、有価証券及び投資有価証券が459億62百万円(12億61百万円減)、現金及び預金が128億8百万円(31億51百万円増)である。
- 負債総額は147億82百万円(14億21百万円減)である。
主な内訳は、政府事業交付金84億99百万円(3億24百万円減)、支払備金30億40百万円(20億45百万円増)、責任準備金29億10百万円(25億89百万円減)、退職給付引当金2億67百万円(5億74百万円減)である。
- 純資産総額は457億26百万円(32億76百万円増)である。
主な内訳は、政府及び農業信用基金協会等からの出資金256億81百万円(増減なし)、政府交付金32億88百万円(増減なし)、利益剰余金167億38百万円(32億80百万円増)である。

2. 損益計算書

- 平成27年度の経常費用は64億66百万円(18億27百万円増)、経常収益は92億41百万円(9億17百万円増)で、これに臨時損失及び臨時利益を加味した結果、当期総利益は32億80百万円(利益の4億5百万円減)となった。
 - この利益が減少となった主な要因は、
 - 責任準備金について、会計上の見積り変更を行った影響により、責任準備金の戻入額が25億89百万円(16億66百万円増)となったこと、
 - 厚生年金基金の解散に伴う代行返上益(4億68百万円増)及び退職給付引当金戻入(1億63百万円増)の収入があったものの、
- 一方で、
- 回収金収入が25億91百万円(3億40百万円減)となったこと、
 - 支払備金の繰入(費用計上)額が20億45百万円(19億67百万円増)となったこと、
 - 政府事業交付金収入が3億24百万円(2億40百万円減)となったこと、
 - 退職給付会計基準改正に伴う調整額(99百万円増)の支出があったこと等による。

(2) 農業融資業務

貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産		I 流動負債	
現金及び預金	6	リース債務(短期)	0
有価証券	1,235	引当金	
未収収益	3	賞与引当金	3
短期貸付金	24,620	その他の流動負債	3
その他の流動資産	-	流動負債合計	6
流動資産合計	25,864	II 固定負債	
II 固定資産		リース債務(長期)	0
1 有形固定資産		引当金	
建物	-	退職給付引当金	24
減価償却累計額	-	固定負債合計	24
土地	-	負債合計	30
その他の有形固定資産	-	(純資産の部)	
減価償却累計額	-	I 資本金	
有形固定資産合計	-	政府出資金	29,584
2 無形固定資産	-	民間出資金	-
3 投資その他の資産		資本金合計	29,584
長期貸付金	12,231	II 資本剰余金	
その他の投資その他の資産	0	政府交付金	8,214
投資その他の資産合計	12,232	特別出えん金	-
固定資産合計	12,232	資本剰余金合計	8,214
資産合計	38,096	III 利益剰余金	
		前中期目標期間繰越積立金	245
		当期末処分利益	23
		(うち当期総利益)	(23)
		利益剰余金合計	268
		純資産合計	38,066
		負債純資産合計	38,096

* 有形固定資産、無形固定資産は便宜上農業保険業務に一括計上

損益計算書

(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
経常費用		経常収益	
一般管理費		事業収入	
人件費	35	貸付事業収入	
直接業務費	2	貸付金利息	6
管理業務費	5	事業収入合計	6
賞与引当金繰入	3	財務収益	
退職給付引当金繰入	4	受取利息	0
減価償却費	5	有価証券利息	23
一般管理費合計	52	財務収益合計	24
財務費用	0	雑益	0
経常費用合計	52	経常収益合計	30
		経常損失	23
臨時損失		臨時利益	
固定資産除却損	0	厚生年金基金代行返上益	42
減損損失	2	退職給付引当金戻入	15
退職給付会計基準改正に伴う調整額	9	臨時利益合計	57
臨時損失合計	11		
当期純利益	23		
当期総利益	23		

1. 貸借対照表

(1) 平成27年度末における資産総額は380億96百万円(2百万円増)である。主な内訳は農業信用基金協会に対する貸付金(短期及び長期)368億52百万円(62百万円減)、有価証券12億35百万円(62百万円増)、現金及び預金6百万円(2百万円増)である。

(2) 負債総額は30百万円(21百万円減)である。主な内訳は、退職給付引当金24百万円(25百万円減)である。

(3) 純資産総額は380億66百万円(23百万円増)である。主な内訳は政府出資金295億84百万円(増減なし)、政府交付金82億14百万円(増減なし)、利益剰余金2億68百万円(23百万円増)である。

2. 損益計算書

(1) 平成27年度の経常費用は52百万円(20百万円増)、経常収益は30百万円(1百万円減)で、これに、臨時損失及び臨時利益を加味した結果、当期総利益は23百万円となり、前年度の1百万円の損失から利益に転じた。

(2) この利益に転じた主な要因は、
 ① 金利の低下により有価証券利息が23百万円(1百万円減)となったこと、
 ② 退職給付会計基準改正に伴う調整額(9百万円増)の支出があったものの、

一方で、

③ 厚生年金基金の解散に伴う代行返上益(42百万円増)及び退職給付引当金戻入(15百万円増)の収入があったこと等による。